



神楽島

長崎市立式見小学校
校長 中尾 善蔵



実りの秋到来！

早いもので、1年の後半に折り返しました。爽やかな風は、少し冷たさを感じるようになりました。

「秋来ぬと 目にはさやかに 見えねども
風の音にぞ 驚かれぬる」

「柿食えば 鐘が鳴るなり 法隆寺」

先人達は、自然と向き合い、和歌や俳句に表現して後生に残しました。藤原敏行や正岡子規には会ったこともないに、このような素晴らしい表現は、現代まで消えないで伝わるのは、人の心を打つ、言葉の力があるからでしょう。

さて、実りの秋です！「〇〇の秋」と言われることも多く、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、食欲の秋などを思い浮かべられることと思います。

それぞれの学年で、自分たちの実を結ぼうと学習や行事にも、真剣に取り組んでいます。

「生活科町探検」や「生活科校外学習」、「式見パーロンについての地域学習」、「小音乐会」、「交歓会」、「小体会」、「あぐりの丘全天候施設オープニングセレモニー」、「式見うんまかもん市」、「式見ふるさと祭り」等々、目白押しです。

そのような中、昨日、6年の●●●●さんが、出島メッセ長崎において、式見小代表として「こども国際会議」に出席しました。

長崎市の姉妹都市であるオランダ「ライデン市」からも子どもたちが参加し、オンライン形式で行いました。外国の子ども達と直接意見交換ができる貴重な機会になりました。

分科会に分かれてテーマごとに協議を行いました。テーマは、「リサイクル」「エネルギー」「ゴミ問題」「水（海）問題」「動物との共生」「地球温暖化」の6つで、樟三さんは「ゴミ問題」について発表を行いました。

学校からの職員が1人しか参加できないので、●●教諭にお任せし、実際には応援には行けませんでした。立派に発表することができました。「あっぱれ！」です。



小体会！頑張ります！



明日はいよいよ小体会本番の日です。6年生は体育館で、最後の練習に取り組んでいました。練習後には、5年生が作成した「応援旗」の贈呈が行われました。

デザインがとても秀逸で、大人顔負けのセンスが良い旗に仕上がっていました。ありがとう、5年生！